

ほんがいっぱい よんでみよう!



3・4年生のための本

①『パイパーさんのバス』

エリナー・クライマー／作 え クルト・ヴィーゼ／絵 こみやう 小宮由／訳
徳間書店《Fク》

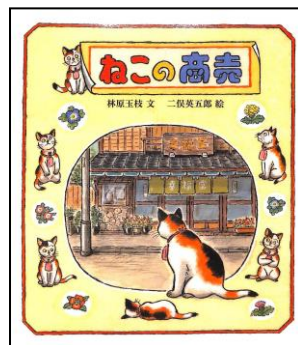
バスの運転手うんでんしゅをしているパイパーさんは、子犬こいぬと、ねこと、ひよこといっしょにくらすことに。でも、アパートの大家のおかみさんは、かうことをゆるしてくれません。パイパーさんは、動物たちをおおやかってくれる人をさがすことにしました。かってくれる人は、見つかるでしょうか？



②『ねこの商売』

しょうばい 林原玉枝／文 ふたまたえいごろう 二俣英五郎／絵 ふくいんかんしよてん 福音館書店 《A Fハ》

幸福堂こうふくどうというおまんじゅうやさんのご主人しゅじんが、「ねこのて おかしします」という はり紙を見つめました。書いてあった番号ばんごうに電話でんわをしてみると、お寺のおしょうさんにかかってしまいました。いたずらかな？と考かんがえていると、ねこのみけがお店にやっきやくてきて、客ひきをしてくれるというのです！



ところざわ しりつところざわ と しょかん
所 沢市立 所 沢図書館 2019年

③『ふたりはとっても本がすき!』

きさらぎ 如月かずさ／作 さく いちかわなつこ／絵 こみねしよてん 小峰書店 《A Fキ》

本ほんを読むよのが大好きな、チーターのチッタちゃんと、カバのヒッポくん。チッタちゃんはなんでもせかせか、たくさんの本ほんを知しっている。ヒッポくんはゆっくり、ひとつのおはなしの良よいところをたくさん知しっている。ある日、読書感想文どくしょかんそうぶんの宿題しゅくだいが出て……。

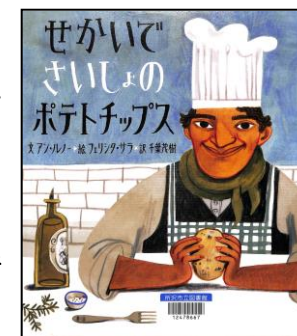


④『せかいでさいしょのポテトチップス』

ぶん アン・ルノー／文 え フェリシタ・サラ／絵 ちばしげき 千葉茂樹／訳

クラムさんのレストランに来た変わり者もののお客きやくさんがポテトだけを注文ちゆうもんした。けれども「ぶあつすぎる」と食たべてくれない。何回なんかいつくりなおしてもダメ。きげんのわるいお客さんきやくに対して、いたずらたいずきなクラムさんが思おもいついた料理りょうり方法ほうほうとは……。

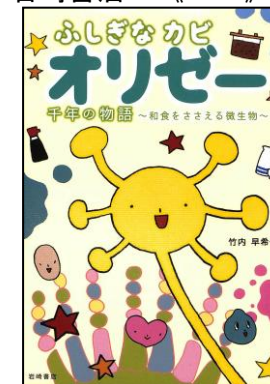
しゅつぱん B L 出版 《Eサ》



⑤『ふしぎなカビ オリゼー』

たけうち さき こ 竹内早希子／著 いわさきしよてん 岩崎書店 《58》

オリゼーは千年以上前から日本人にほんじんの身のまわりにいた不思議な菌きんです。オリゼーのしごとわしよくは、和食わしよくに使うしょうゆやみそなどをつくること。日本人は、どうやってオリゼーにほんじんの存在そんざいに気付いたのでしょうか？さあ、ふしぎなカビ、オリゼーの世界せかいをのぞいてみよう！



⑥ 『王さまになった羊飼』

まつせな お さいわ え ふういんかんしよてん
松瀬七織 / 再話 イ ヨンギョン / 絵 福音館書店 《M》

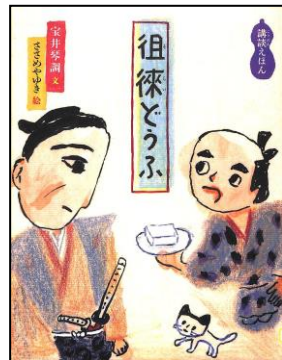
かみさま ちから
神様の力で、どうぶつのことばがわかるようになった、やさしい羊飼いの男の子。ごちそうにされかかった羊をにがしたことで、かくちをさすらいことになりました。男の子が、ある王国に着くと、王様の使いがのっている馬から声が聞こえてきて……。



⑦ 『徂徠どうふ』

たからいきんちよう ぶん ふういんかんしよてん
宝井琴調 / 文 ささめやゆき / 絵 福音館書店 《91.9》

とうふ屋の七兵衛さんが出会ったおさむらいさんは、毎日とうふを一丁ずつ、ぺろりとたいらげてしまいます。けれども、お代をはらってくれません。おさむらいさんはお金がなくて、一日の食事がとうふ一丁だといふのです。そこで七兵衛さんは……。



⑧ 『すくすく育て! 子ダヌキ ポンタ』

さわ みず え ぶん ありたこうせい しやしん え がっけん
佐和みずえ / 文 有田公生 / 写真 サカイノビー / 絵 学研プラス 《48》

タヌキの赤ちゃんって見たことある? 子犬とそっくりなんだって。ある日、獣医の有田先生のもとに、子犬と間違えられて、一匹の子ダヌキが連れてこられた! 「このままでは死んでしまう。」と思った有田先生は、タヌキを野山に返すまで育てることに……。



⑨ 『はんぶんのおんどり』

ジャンヌ・ロツシュ=マンボン / さく やまぐちともこ / やく ほりうちせいしち / え ずいろうんしや
瑞雲舎《AFロ》

にいさんと、ざいさんをはんぶんにするこに
なったステファヌ。けれども、ざいさんはおんどり
のジョウー羽だけ。そこでにいさんは、ジョウを
まっふたつに! おどろいたステファヌがあてを
すると、はんぶんのジョウは、げんきになって……。



⑩ 『世界のむかしばなし』

せたいじ やく おおただいほち え
瀬田貞二 / 訳 太田大八 / 絵
のら書店 《M》

こなべどんは、びんぼうなおばあ
さんのために、たべものを持ってき
ます。あるひ、長者どんのへやに
はいると……。 (「こなべどん」ほか)

⑪ 『ロバのシルベスターとまほうの小石』

ウィリアム・スタイグ / さく
せたいじ / やく ひょうろんしや
評論社 《Eス》

のぞみのかなう小石を手に入れた
シルベスター。ところが、ライオンに
おどろき、思わず「岩になりたい」と、
願ってしまいました。

⑫ 『巣箱のなかで』

すばこ さく え ふういんかんしよてん
鈴木まもる / 作・絵 あかね書房
《48》

シジュウカラが巣箱で巣づくり
をはじめました。巣箱のなかをの
ぞいて、卵を生み、育てる様子を、
見てみましょう。

⑬ 『ホッキョクグマ』

ジェニ・デズモンド / さく ふくもとゆきこ
福本由紀子 / やく
ながせけんじろう にほんごばんかんしゆう しゅつぽん
長瀬健二郎 / 日本語版監修 BL出版《48》

こい茶色の目、長くて太いあし、
短いしっぽのホッキョクグマ。ほ
かにどんなとくちょうがあるかな。
どんなせいかつをしているかな。

⑭ 『こどもあそびうた』

たにかわしゆんたろう し やまだかおる へん
谷川俊太郎 / 詩 山田馨 / 編
童話屋 《91.1》

「いもくってぶ くりくってぼ
すかしてへ ごめんよ ぼ」
(「おならうた」より)
楽しいしがいっぱいのもてるよ!

⑮ 『マングローブの木の下で』

よこつかまこと しやしん ぶん しょうがくかん
横塚真己人 / 写真と文 小学館
《65》

うみ みず
海の水につかってもかれないふ
しぎな植物、マングローブ。その下
では、カニやさかななどのたくさん
の生き物が暮らしているんだって。